



# ご利用にあたって

- 「安全情報」は医療・福祉関係の方に向けて発信したものです。一般の方に向けた内容ではございませんのでご注意ください。
- 内容は、いずれも発行日時点のものです。常に最新の情報をご確認ください。



2004.1.16

全日本民医連医療安全委員会  
同 院内感染対策プロジェクト

## ノロウイルスの集団感染について

この間、3つの民医連の病院でノロウイルス（SRSV：小型球形ウイルス）の集団感染が報告されました。

A病院では、2002年3月11日から約2ヶ月にわたって感染が持続し、おむつ交換の際の一患者一手袋の徹底と職員の手洗いの徹底、感染者が発生した病棟全員をベッド間隔の広い新築した病棟に移すなどの環境整備を行い、5月8日に終息宣言を行っています。

B病院では2003年2月17日から18日まで1名の嘔吐、下痢症状の患者様が入院し、その後2月20日から2月22日にかけて10名の患者様、7名の職員が嘔吐、下痢を起こし23日所轄の保健所に届け出を行い発症者の糞便からノロウイルスが検出されました。3月1日には感染者も軽快しています。

C病院では、2003年11月10日1名の患者様に嘔吐、下痢が発症し、11月11日には4名の患者様の発症があり、11月20日まで患者様・家族計28名、職員・病院関係者9名に同様の症状が発生しています。11月14日所轄保健所に届け出、16日にはノロウイルスが検出されています。11月21日には当該病棟の新規入院受け入れを停止していますが、11月22日からは新たな感染者は発生していません。

以上3件の報告から、院内感染対策プロジェクトとして以下の点で注意を呼びかけます。

1. 嘔吐・下痢症状の患者様の集団発生が起きた時にはノロウイルスの感染を考慮する必要があります（食中毒の患者の10～20%を占めています）。水や食品を介した食中毒だけではなく、ヒトーヒト感染も起こしますので、集団感染が判明した時点で感染経路を確定するためにも、速やかに保健所に相談すること。
2. カキなどの二枚貝は中心部まで十分に加熱して調理を行うこと。調理従事者の手洗いなどの食中毒予防策の徹底。下痢・嘔吐症状があったときは調理従事者は調理業務に従事しないこと。
3. 接触感染だけではなく、飛沫感染もあるとされており、アルコール、クロルヘキシジンはウイルス不活化に有効ではありませんので、液体石鹼と流水での十分な手洗いを行うこと。患者様の吐物、便処理時には外科用マスクを付け、未滅菌手袋と使い捨てのプラスチックエプロンを着用して下さい。汚染されたリネンは静かに扱って下さい。嘔吐物や便で汚れた床の処理は、次亜塩素酸ナトリウムを十分に含んだ布で覆ってしばらく放置して消毒して下さい。